

**脳死下・心停止後臓器摘出手術に関する  
医師を対象とした勤務実態調査  
(抜粋版)**

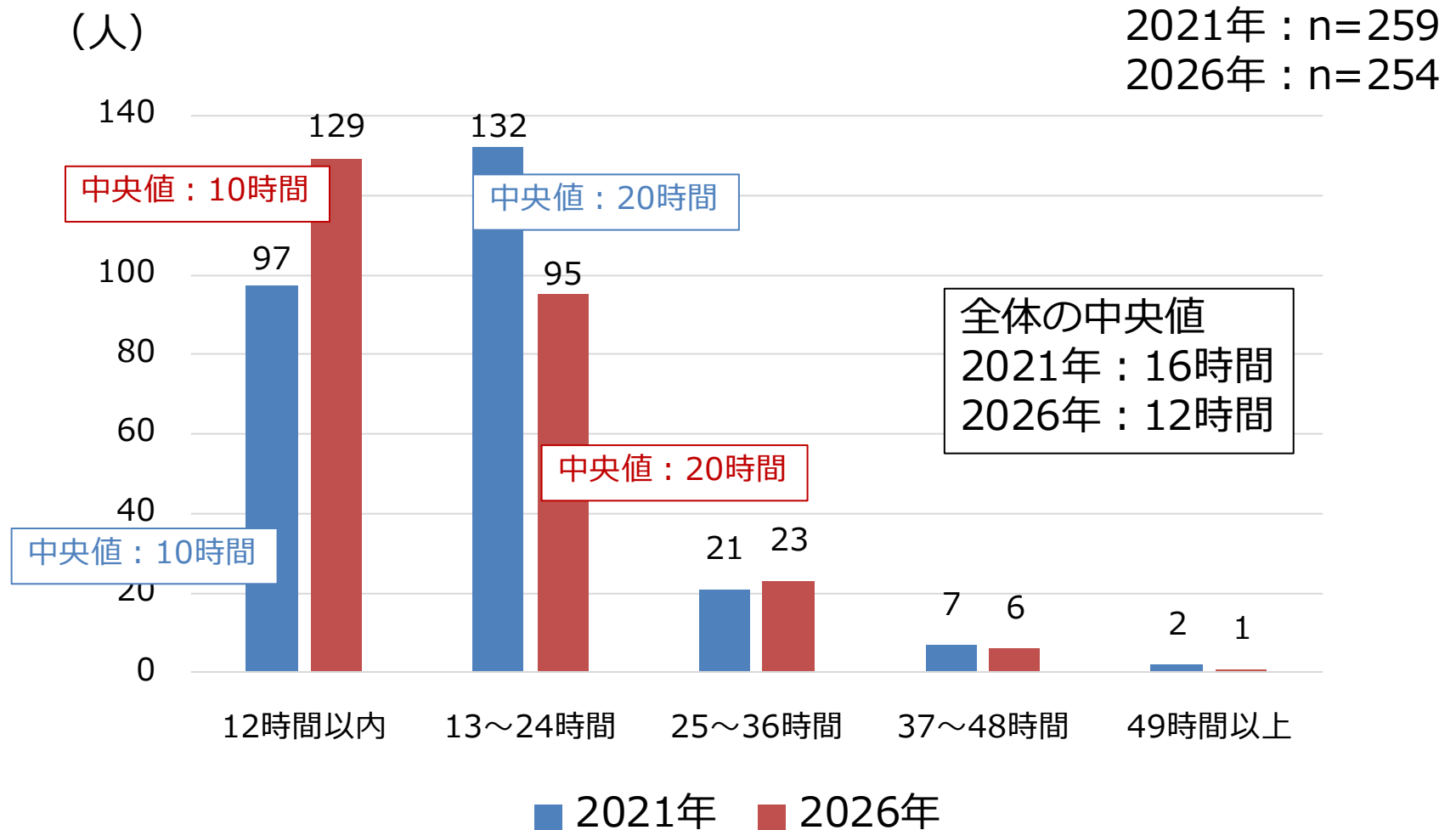
**日本移植学会働き方改革委員会**

**2026年4月**

# 脳死下・心停止後臓器摘出手術に関する 医師を対象とした勤務実態調査

- 学会員（医師）にアンケートを依頼
- 1回目  
アンケート実施期間：2020年12月1日～2021年2月1日  
340名より回答を得た
- 2回目  
アンケート実施期間：2025年12月15日～2026年2月7日  
347名より回答を得た

# 直近の脳死下臓器摘出手術に関わる拘束時間 (2021年、2026年比較)

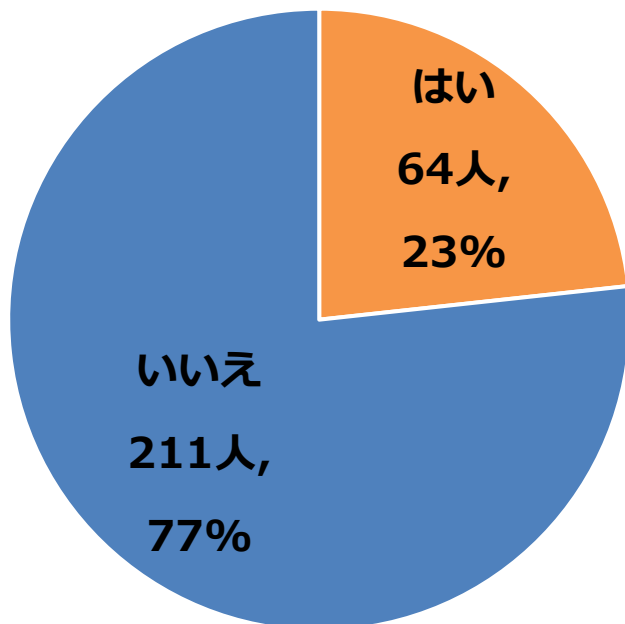


2026年の調査では前回調査に比べ、12時間以下の割合が増えている。  
中央値も、前回調査よりも短くなっている。

# 直近の脳死下臓器摘出手術後のインターバルの有無

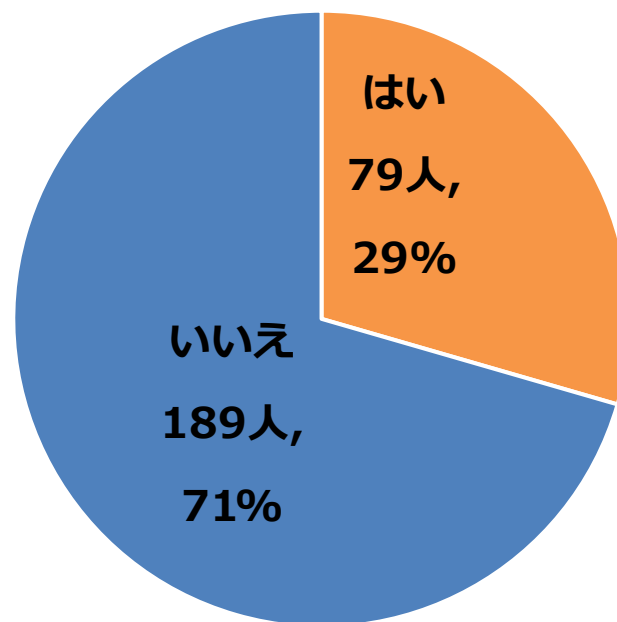
2021年調査

n = 275



2026年調査

n = 268

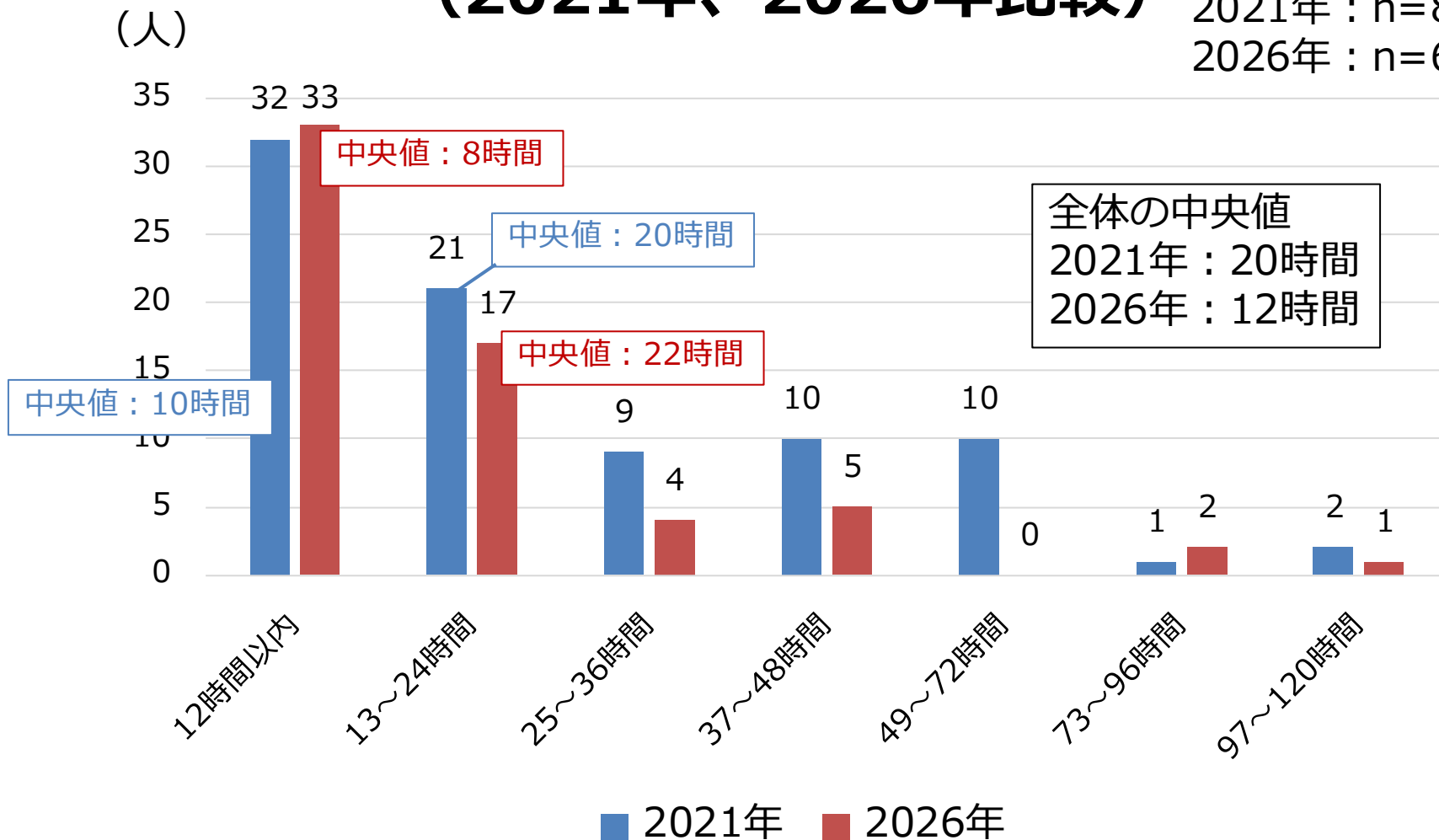


2026年の調査では、2021年の調査に比べインターバルをた人の割合が若干増加している。しかし、現在もインターバルが取れない人の割合が多い。

# 直近の心停止後臓器摘出手術拘束時間 (2021年、2026年比較)

2021年 : n=85

2026年 : n=62

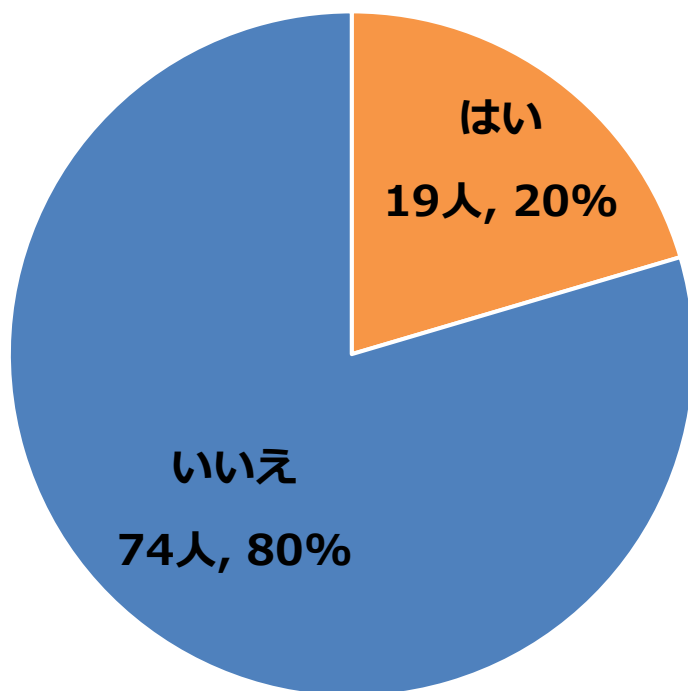


2026年の調査では、2021年に比べ25時間以上の拘束があった人の割合は減っている。拘束時間の中央値もより短くなっている。

# 直近の心停止後臓器摘出手術後にインターバルがあったか

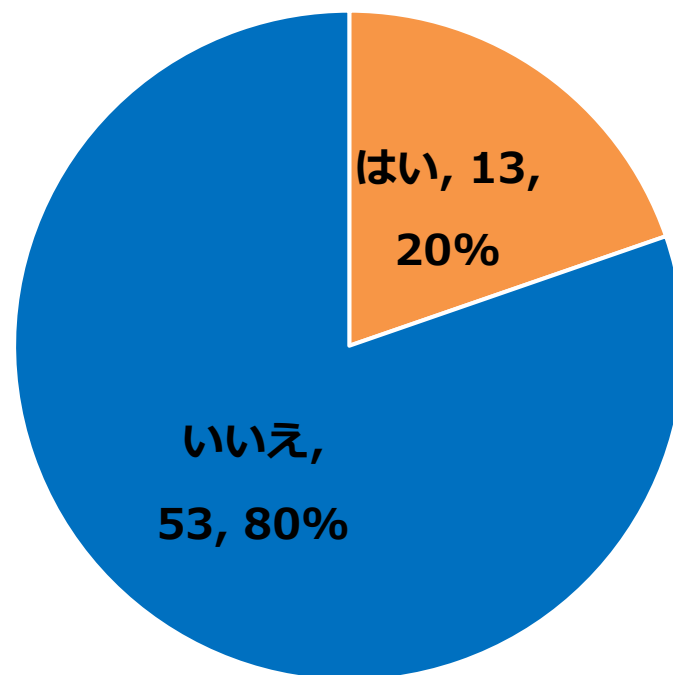
2021年調査

n = 93



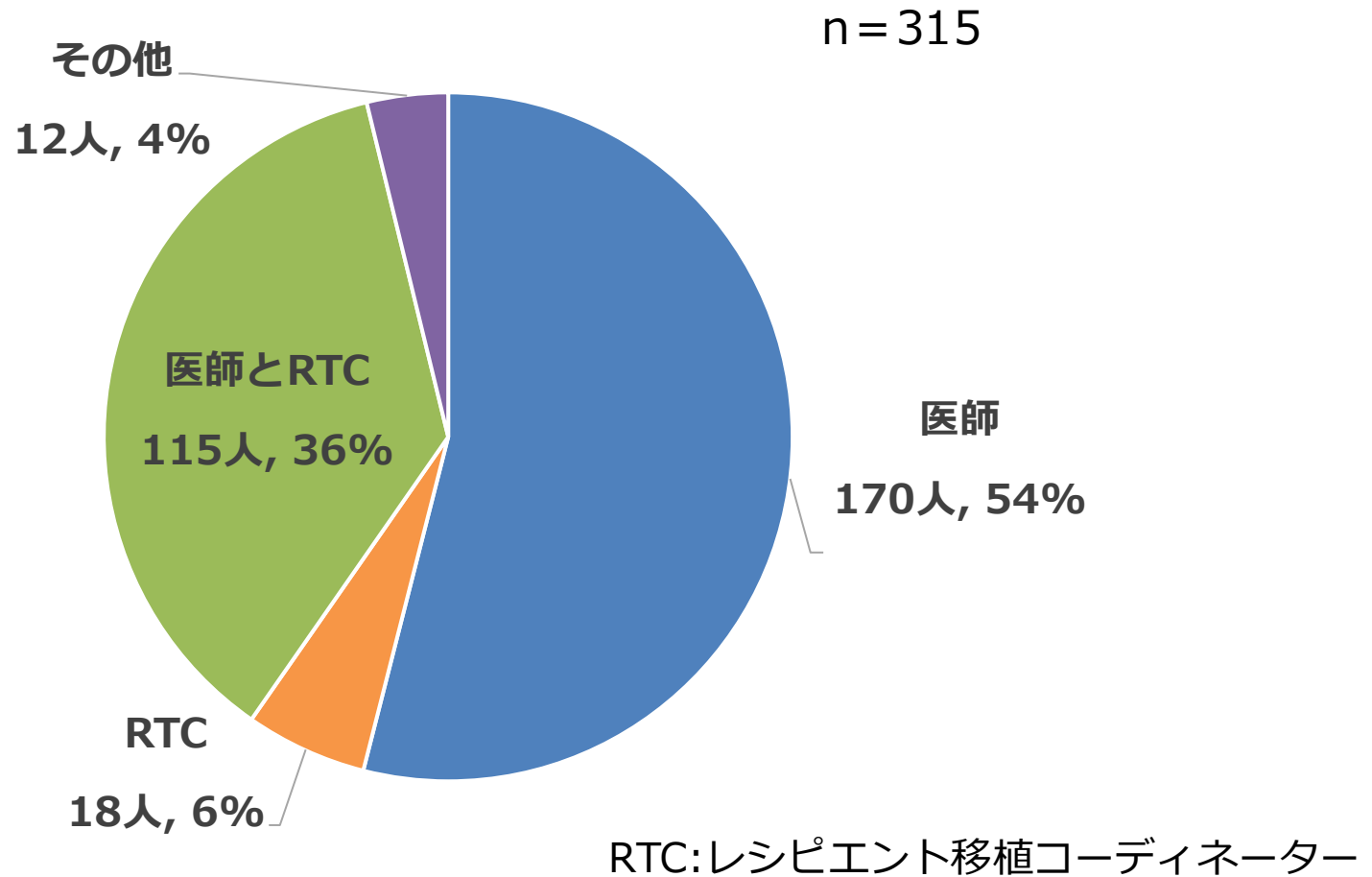
2026年調査

n = 66



2026年の調査では、2021年の調査と同様にインターバルが取れなかった人の割合が多い。

# ドナー情報の早期化情報を受ける職種 (2026)

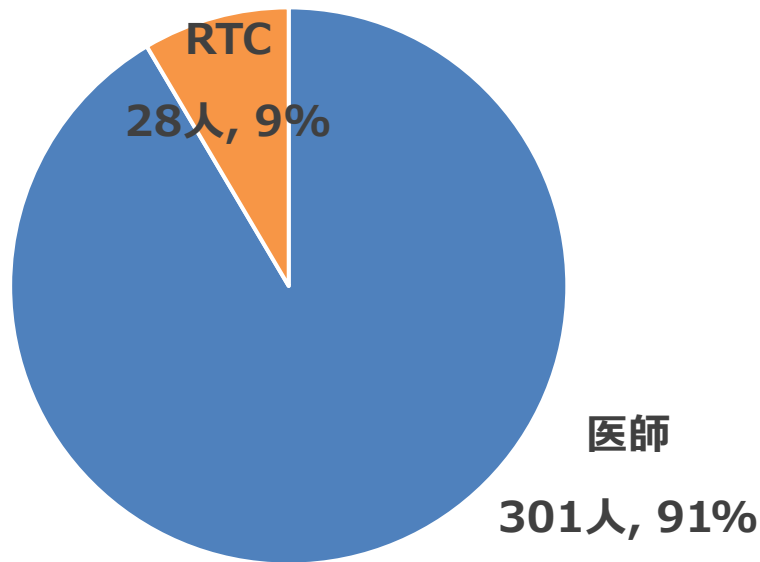


早期化情報を受ける職種は、医師または医師+RTCが多い。

# ドナー情報第一報を受ける職種

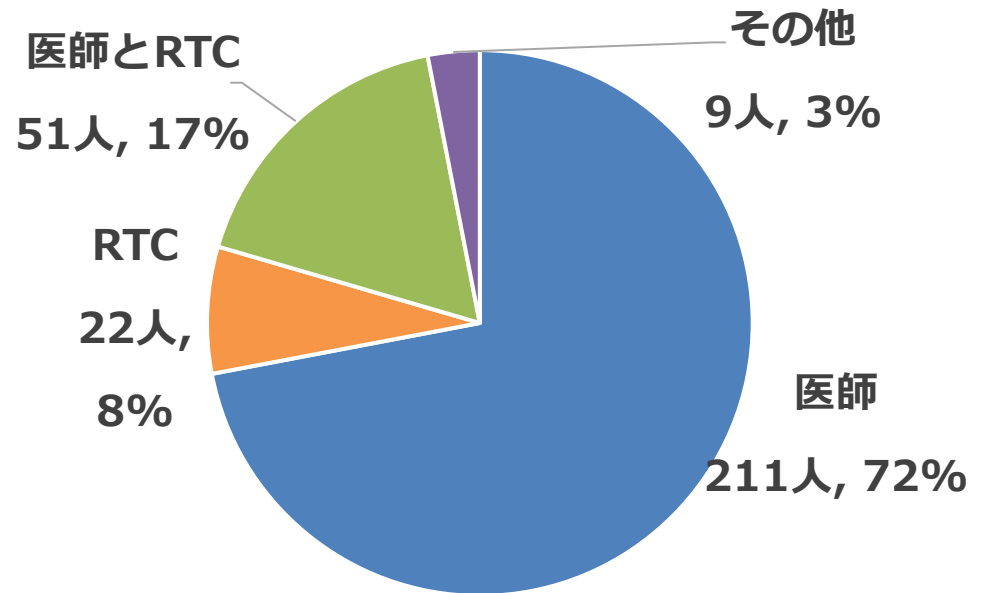
2021年調査

n = 310



2026年調査

n = 293

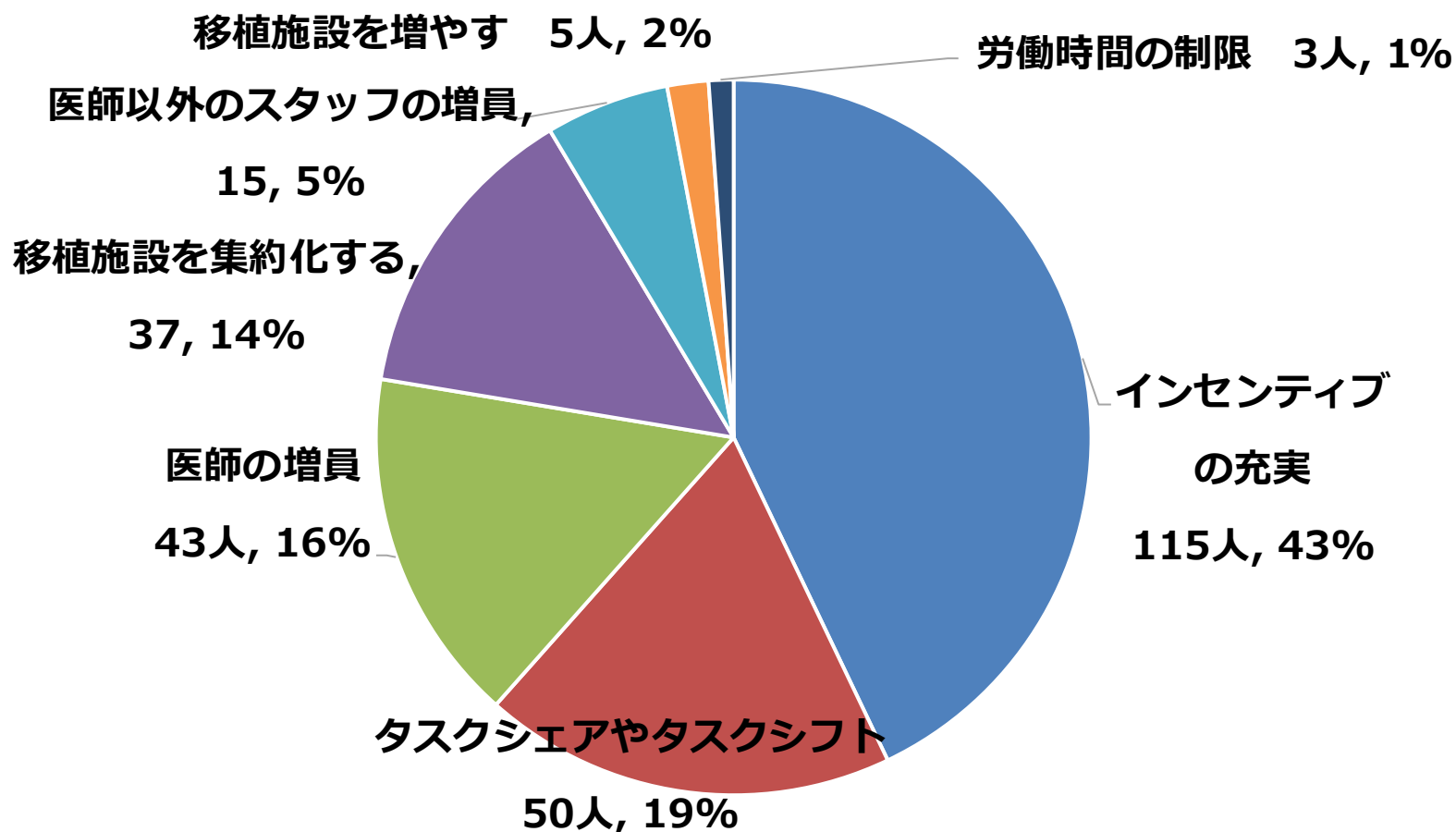


RTC:レシピエント移植コーディネーター

2021年の調査同様、ドナー情報第一報を受ける職種は、医師が多い。

# 移植医の労働環境を改善するために最も重要だと思うものを1つ選択してください（2026）

n = 268



労働環境改善のためには、インセンティブの充実が重要と考えている医師が多い。